

ホールで想定される活動・形態について

《 活動 》

(1) 参加

- 文化活動に関わる人を増やすための多様な活動を展開する。
- 市民が舞台芸術を体験する機会を多く提供する。
- 文化団体や他分野との連携を図り、若者の来館・参加促進を図る。

(2) 普及・育成

- 文化活動の日常的な普及・育成事業を積極的に展開する。
- 市民の文化活動を日常化する活動に力を入れる。
- 賑わい創出のための事業を定期的に展開する。

(3) 交流

- 市内外の交流の場として新しいつながりが生まれる機会を提供する。
- 市内外との交流につながる事業・活動を展開する。
- 利便性の高い地の利を活かし、各種交流が可能な事業の展開や各種会合の誘致を進める。

(4) 連携・情報

- 参加者、来場者を増やしホール活性化につなげるために情報を発信する。
- 情報の収集・発信を「事業」として推進する。
- 文化に関する情報の収集やホールの事業内容を積極的に発信する。

(5) 鑑賞

- 質の高い舞台芸術を知る機会を定期的・継続的に提供する。
- 質の高い舞台芸術や新しい舞台芸術に触れる機会を提供し、来館促進や芸術文化活動を推進する。
- 専門家のノウハウを生かして、質の高い事業を効果的に企画・実施し、文化活動の向上に寄与する。

《 形態 》

	利用事例(ニーズ)	○ メリット	× デメリット
固定式	【ステージ部分】 <ul style="list-style-type: none"> コンサート/発表会/映画 集会/会議 講演会/講習会 練習 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽や観劇などの利用に配慮した設計で高いホール性能を確保することができる。 揺れや異音の懸念がない。 ホスピタリティの高い椅子を設置することができる。 舞台及び客席を一体的なデザインとして統一しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台を任意の位置に移動させることや平土間利用など多様な活動や利用への対応が制約される。 集会や講演会利用を除くと、舞台芸術利用が主体となる。そのため利用率も一定程度制約されることも想定される。
移動式	【ステージ部分】 <ul style="list-style-type: none"> コンサート/発表会/映画 集会/会議 講演会/講習会 【平土間部分】 <ul style="list-style-type: none"> 劇場、コンサート、舞踊 レセプション/飲食パーティ ディナーショー 展示 物販 ワークショップ 練習・リハーサル 面接会/説明会 	<ul style="list-style-type: none"> 固定段床式や平土間での利用が可能で多様な使い方、幅広いニーズに応えられる。 舞台芸術(踊り・ダンス)だけでなく展示(美術・書道)の利用もできる。 任意の位置に舞台や客席を設えることができる。 会議や講習会的な利用も想定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの位置も舞台になったり客席になったりする可能性があるため、ホールとしての性能以上に対応性(仮設性)に配慮した計画となる。 様々な利用に対して、舞台や客席の設置に手間取ることがある。 移動客席のため、選択できる椅子に制約がある。